

### 寄贈図書リスト

科学と宗教, Thomas Dixon 著 中村圭志訳, 新書判, 218頁, 1,000円+税, 丸善出版  
暦と時間の歴史, Leofranc Holford-Strevens 著 正宗聡訳, 新書判, 228頁, 1,000円+税, 丸善出版

彗星の科学, 鈴木文二・秋澤宏樹・菅原 賢, B5判, 138頁, 2,600円+税, 恒星社厚生閣  
宇宙を見せて, 天文教育普及研究会(編) 水野孝雄・縣 秀彦(監修), B5判, 204頁, 3,000円+税, 恒星社厚生閣

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

### 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員(ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他(待遇など)

### 国立天文台年俸制特任教員(チリ観測所, ARCサイエンティスト)

1. 特任准教授または特任助教, 合計2名
2. (1) 国立天文台チリ観測所, (2) 三鷹
3. 電波天文学
4. チリ観測所東アジアALMA地域センター(EA-ARC)に所属し, 主に以下の業務を行っていただきます。(1) ALMAの共同利用運用のためのユーザー支援業務(観測準備もしくはデータ解析), (2) 出張ベース(3カ月程度の出張を年1回, または, 1カ月程度の出張を年間2-3回)で, チリ現地における当番天文学者(Astronomer on Duty)もしくはシステム・科学評価活動を推進する, (3) 国内外におけるALMAサイエンスのプロモーション活動(研究会, ユーザーズミーティング等), (4) ASTEやMopra電波望遠鏡の科学運用を担い, ALMAにつながるサイエンスの実行を推進する, (5) 特任准教授には, 以上に加えて, 地域センターの観測準備サポート, 観測手順書作成サポート, ヘルプデスクの業務の統

括の責任を分担していただく。

- 勤務時間の75%を以上の業務に携わっていただいたうえで, 残りの25%は, 以下のALMA関連の研究業務に割り当て, しっかりと競争力のある研究業績を上げていただきます。(1) ALMA初期科学運用においていち早く観測成果を出す, (2) ALMAにおける新しい研究フィールドを開拓する
5. (1) 2014年4月1日 (2) 最長5年. 年度ごとに業績評価を行い給与の見直しを行います。なお, 着任前6カ月以内に自然科学研究機構の職員であった場合は, 最長2018年3月31日までとなります。
  6. 天文学または関連する分野で博士の学位を持つか, それと同等以上の方で, 以下の資質をお持ちの方。(1) 電波観測装置を用いた観測的研究の推進に意欲的に取り組めること, (2) 米欧の外国人を含むチームの中で, 議論し共同作業ができる英語力を有すること, (3) 東アジアのARCおよびほかのARCスタッフと協力・協調して, 科学評価活動およびユーザー支援業務に意欲的に取り組めること。
  7. 以下の書類(英文)をpdfファイルとし, 電子メールに添付して送付してください。(1) カバーレター(特任准教授と特任助教のどちらに応募するかを明記してください), (2) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほか, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと), (4) 主要論文3編のpdfコピー, (5) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください), (6) 本人について意見を述べられる方の連絡先

- (複数), (7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先 (e-mail アドレス, 電話番号).
8. 2014年1月10日(金) 17時 ※日本時間 必着
9. (1) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫  
e-mail (応募専用):  
chile.application@alma.mtk.nao.ac.jp  
メールのSubject欄に“application for ARC Scientist”と明記してください.
- (2) 国立天文台チリ観測所ALMA地域センター・マネジャー 立松健一  
e-mail: k.tatematsu@nao.ac.jp  
メールのSubject欄に“question on ARC Scientist”と明記してください.
10. 応募上の注意:
- ・郵送や直接持参による応募は受け付けません.
  - ・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール一通最大10 MB程度まで).
  - ・応募書類を受信後2日(休日を除く)以内に確認のメールを送ります. 確認が届かない場合には, e-mail (確認専用):  
chile.inquiry@alma.mtk.nao.ac.jp宛てお問い合わせください.
  - ・応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用しません.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します. 詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください.
5. (1) 2014年4月1日 (2) 最長5年. 年度ごとに業績評価を行い給与の見直しを行います. なお, 着任前6カ月以内に自然科学研究機構の職員であった場合は, 最長2018年3月31日までとなります.
6. 上記の業務に関連する分野で博士の学位を持つか, それと同等以上の方
7. 以下の書類(英文)をpdfファイルとし, 電子メールに添付して送付してください. (1) カバーレター, (2) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと), (4) 主要論文3編のpdfコピー, (5) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください), (6) 本人について意見を述べられる方の連絡先(複数), (7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(e-mail アドレス, 電話番号).
8. 2014年1月10日(金) 17時 ※日本時間 必着
9. (1) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫  
e-mail (応募専用):  
chile.application@alma.mtk.nao.ac.jp  
メールのSubject欄に“application for ALMA receiver scientist”と明記してください.
- (2) 国立天文台チリ観測所 井口 聖  
e-mail: s.iguchi@nao.ac.jp  
メールのSubject欄に“question on ALMA receiver scientist”と明記してください.
10. 応募上の注意:
- ・郵送や直接持参による応募は受け付けません.
  - ・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール一通最大10 MB程度まで).
  - ・応募書類を受信後2日(休日を除く)以内に確認のメールを送ります. 確認が届かない場合には, e-mail (確認専用):  
chile.inquiry@alma.mtk.nao.ac.jp宛てお問い合わせください.
  - ・応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用しません.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します. 詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください.

## 国立天文台年俸制特任教員(チリ観測所, ALMA 受信機開発)

1. 特任助教, 1名
  2. (1) 国立天文台先端技術センター, (2) 三鷹
  3. 電波天文学用受信機
  4. 先端技術センター ALMA 受信機チームに所属し, 主に以下の業務を行います. (1) ALMA 将来計画のバンド1 (30-50 GHz帯) 受信機開発, (2) テラヘルツ受信機, マルチ・エレメント・アレイ受信機など次世代の電波天文学用ヘテロダイン受信機開発, (3) ALMA 運用期におけるフロントエンドの技術的問題解決, (4) ASTE・野辺山・VERAなどの天文台が所有する国内外の望遠鏡に搭載された検出・受信装置のアップグレード.
5. (1) 2014年4月1日 (2) 最長5年. 年度ごとに業績評価を行い給与の見直しを行います. なお, 着任前6カ月以内に自然科学研究機構の職員であった場合は, 最長2018年3月31日までとなります.
6. 上記の業務に関連する分野で博士の学位を持つか, それと同等以上の方
7. 以下の書類(英文)をpdfファイルとし, 電子メールに添付して送付してください. (1) カバーレター, (2) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに, 多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください), (3) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し, 共著の場合は役割分担を記すこと), (4) 主要論文3編のpdfコピー, (5) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください), (6) 本人について意見を述べられる方の連絡先(複数), (7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(e-mail アドレス, 電話番号).
8. 2014年1月10日(金) 17時 ※日本時間 必着
9. (1) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫  
e-mail (応募専用):  
chile.application@alma.mtk.nao.ac.jp  
メールのSubject欄に“application for ALMA receiver scientist”と明記してください.
- (2) 国立天文台チリ観測所 井口 聖  
e-mail: s.iguchi@nao.ac.jp  
メールのSubject欄に“question on ALMA receiver scientist”と明記してください.
10. 応募上の注意:
- ・郵送や直接持参による応募は受け付けません.
  - ・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール一通最大10 MB程度まで).
  - ・応募書類を受信後2日(休日を除く)以内に確認のメールを送ります. 確認が届かない場合には, e-mail (確認専用):  
chile.inquiry@alma.mtk.nao.ac.jp宛てお問い合わせください.
  - ・応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用しません.
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します. 詳しくは <http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください.

## 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

### 国立天文台研究教育職員（理論研究部）

1. 2013年5月（第106巻第5号）
2. 井上剛志（青山学院大学理工学部助教）
3. 2014年3月

## その他

### 第55回科学技術映像祭の参加作品を募集

募集締切：2014年1月21日（火）

参加方法：科学技術映像祭公式ホームページより申込

入選発表：2014年3月下旬予定

表彰式：2014年4月18日（金）予定

表彰式会場：当館サイエンスホール

主催：（公財）日本科学技術振興財団，（公社）映像文化製作者連盟，（公財）つくば科学万博記念財団

参加申込方法など，詳細はこちらをご覧ください。

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

## 賞の推薦

### 第55回藤原賞受賞候補者ご推薦依頼

#### 事業の概要

わが国に国籍を有し，現在活躍中で科学技術の発展に卓越し，貢献した科学者を顕彰し，副賞を含め，記念品を贈呈しております。その受賞候補者を募集いたします。

1. 対象分野：自然科学の全分野
2. 賞の内容：年2件賞状，賞牌（金メダル），副賞（各1千万円）
3. 推薦要項書提出締切日：2014年1月31日（金）  
藤原科学財団必着
4. 申請書提出先・連絡先：  
〒104 0061 東京都中央区銀座3丁目7番12号  
公益財団法人藤原科学財団  
Tel: 03-3561-7736 Fax: 03-3561-7860
5. 藤原科学財団ホームページ：  
<http://www.fujizai.or.jp>  
◎ホームページに募集要項書が掲載されております。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長），市来浄興，大栗真宗，勝川行雄，富永 望，平松正顕，廣田朋也，馬場 彩，前野将太，町田正博，吉田二美

平成25年12月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円（本体667円）発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2013年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）